

青木ヨットスクールBCCコース参加要領

2008/3/29

このたびは青木ヨットスクール BCC コースへの参加のお申し込みをいただき、ありがとうございました。

最小参加者数は3名となっておりますので、開催は当社ウェブサイトでご確認ください。

テキストブックは「インナーセーリング1」及び「インナーセーリング2」を使用します。

個人装備をお持ちでない方は別紙AOKIヨットスクールおすすめ個人装備注文書でご注文ください。

トレーニングの成果を上げるため、予習問題とテキストブックの該当箇所を必ず予習して、当日持参してください。卒業テストは80点が合格点です。実技テストは各項目が全て出来ることが求められます。

また当社ウェブサイトには、スクール受講の参考となるよう、会員ページを設けています。

以下のユーザー名とパスワードを使用し、アクセスしてください。

ユーザ名 school パスワード student1 (英文字全て小文字でスペースを空けない)

別紙の宿題とBCCテスト予習テスト問題を仕上げ、当日ご持参下さい。

スクールの基準に合致した個人装備は揃っていますか。荒天にもしばしば遭遇します。今一度お確かめ下さい。

それでは体調を整えて、元気にご参加頂くことをお待ちしております。

●注意事項

1. 一日目の航海食は、あらかじめご用意のうえ、各自で現地に集合してください。
出発地での宿泊予約は各自でお願いいたします。寄港先の民宿はスクールから一括して予約します。別紙の宿泊先一覧表をご参照ください。
2. 宿泊時は初日をのぞいて夕食と朝食がつきます。トレーニング中の昼食と飲み物などは各自が用意してください。現地で購入できます。酒類はお互いの安全のため、トレーニング時間中はご遠慮ください。
食事代、交通費及び宿泊費用は各自現地で精算してください。
3. 船酔いの心配があるときは、実習の妨げとなるため確実な酔い止めを、乗艇の2時間前には服用してください。
いかに船酔いしても休養できないときがあります。アネロン・ニスキャップは従来の酔い止めとは違い、非常によく効きます。大きな薬店で販売しています。
4. ヨットトレーニングは気象警報が発令されない限り、実施します。しかし危険が予想されるときは、プログラムを変更または中止することがあります。
5. プログラムの開始5分前には必ず集合してください。また終了時間は天候などの都合により変更することがありますので、以後の現地予定を入れないようお願いいたします。
6. トレーニング中はインストラクターの指示を守ってください。受講生の安全を守り、レベルアップを図るよう、インストラクターは常に考えています。プログラム開始時に安全確保のために、確認書の内容をご説明致します。
7. 各開催地のトレーニングに必要なチャート・海図図式(持参品を参照)を事前に各自で購入しておいてください。
日本水路図誌(株): TEL...03-3541-1621 <http://www.jha.jp/kaizu/index.html>

●持 参 品

少なくとも以下のセーリング・ギアを各自が用意してください。ギアを新たに購入するときは、スクールの基準を満たすギアを選択してください。当社ネットショップでは、スクール推奨の安全装備を販売しています。別紙の注文書から FAXでも注文できます。

ギアはすべてを一つのバッグに納めて、持参してください。旅行用ハードケースは、艇内へ収容できません。

- | | |
|---|---------------------|
| 小型船舶操縦免許証 | 健康保険被保険者証 又は 保険証コピー |
| インナーセーリング1・2(教科書) | 予習教材(宿題、予習テスト問題) |
| チャート(各開催地用) | 小型船用港湾案内(各開催地用) |
| 潮汐・潮流表(各開催地用) | |
| 航海計画書(各開催地用) | |
| 海図図式(各開催地用) | |
| ハンドベアリングコンパス | |
| 筆記用具(電卓、鉛筆、消しゴム、平行定規もしくは三角定規、デバイダー) | |
| ログブック ASA OFFICIAL INTERNATIONAL LOG BOOK | |
| ライフジャケット(スクール推奨品、又は同等品) | |
| セイフティライン(スクール推奨品、又は同等品) | |
| シーナイフ(スクール推奨品、又は同等品) | |
| デッキシューズ | |
| セーリンググローブ | |
| 帽子(飛ばないようにストラップをつけること) | |
| ヨット用カッパ(スクール推奨品、又は同等品) | |
| タオル、着替え、ヨットブーツ(夏期以外)、 | |
| 防寒服、サングラス、水着、水中メガネなど(夏期のみ) | |
| めがね着用の方はストラップを付けてください。 | |
| 開催地別教材(各自で事前に用意する事) | |

開催地	必要教材	沖縄校	大阪校	横須賀校	愛知校
チャート		海図番号 W226	海図番号 W106	海図番号 W90	海図番号 W1052
小型船舶用 港湾案内		南西諸島 H-812	瀬戸内海東部 H-803-W	本州南岸1 (東京湾-大王崎) H-801-W	本州南岸1 (東京湾-大王崎) H-801-W
海図図式		第 6011 号	第 6011 号	第 6011 号	第 6011 号
潮汐表		那覇港	大阪港	横須賀港	衣浦
潮流表			友ヶ島港	東京湾湾口	伊良湖水道

日本水路図誌(株): TEL...03-3541-1621 <http://www.jha.jp/kaizu/index.html> 不明な点は遠慮なく、おたずねください。

青木ヨットスクール 〒598-0093 大阪府泉南郡田尻町りんくうポート北1番地

tel.072-465-8192 fax.072-465-8194 <http://www.aokiyacht.com>

BCC コースプログラム

1日目

0930 時	指定場所へ集合 自己紹介、確認書の説明と同意 トレーニングの説明と注意と質疑応答 第1レグの航海計画を各自が発表 航海計画の評価と決定 ワッチチームの編成
1100 時	スキッパーによる出港前ブリーフィング 現地を出港 8の字救助法実習
1300 時	海上昼食 ベアリングフィックス実習 チャートプロットング実習 セーリング実習
1600 時	目的港へ入港 アンカリング実習 艇の後片付け 民宿で夕食 第1レグの相互評価 第2レグのチャートプロットングと航海 計画実習

2日目

0700 時	民宿で朝食 スキッパーによる出港前ブリーフィング 現地を出港 ベアリングフィックス実習 チャートプロットング実習 セーリング海上実習 8の字救助法海上実習
1200 時	海上昼食 セーリング海上実習
1500 時	目的港へ入港 アンカリング実習 艇の後片付け
1830 時	民宿で夕食 第2レグの相互評価 第3レグのチャートプロットングと 航海計画実習

3日目

0700 時	民宿で朝食 スキッパーによる出港前ブリーフィング ベアリングフィックス実習 チャートプロットング実習 セーリング海上実習 8の字救助法海上実習
1500 時	目的港へ入港 艇の後片付け 休憩 BCC卒業テスト 卒業テストの評価と質疑応答 インターナショナル・ログブックの発行 インストラクターによるインフォメーション
1700 時	解散

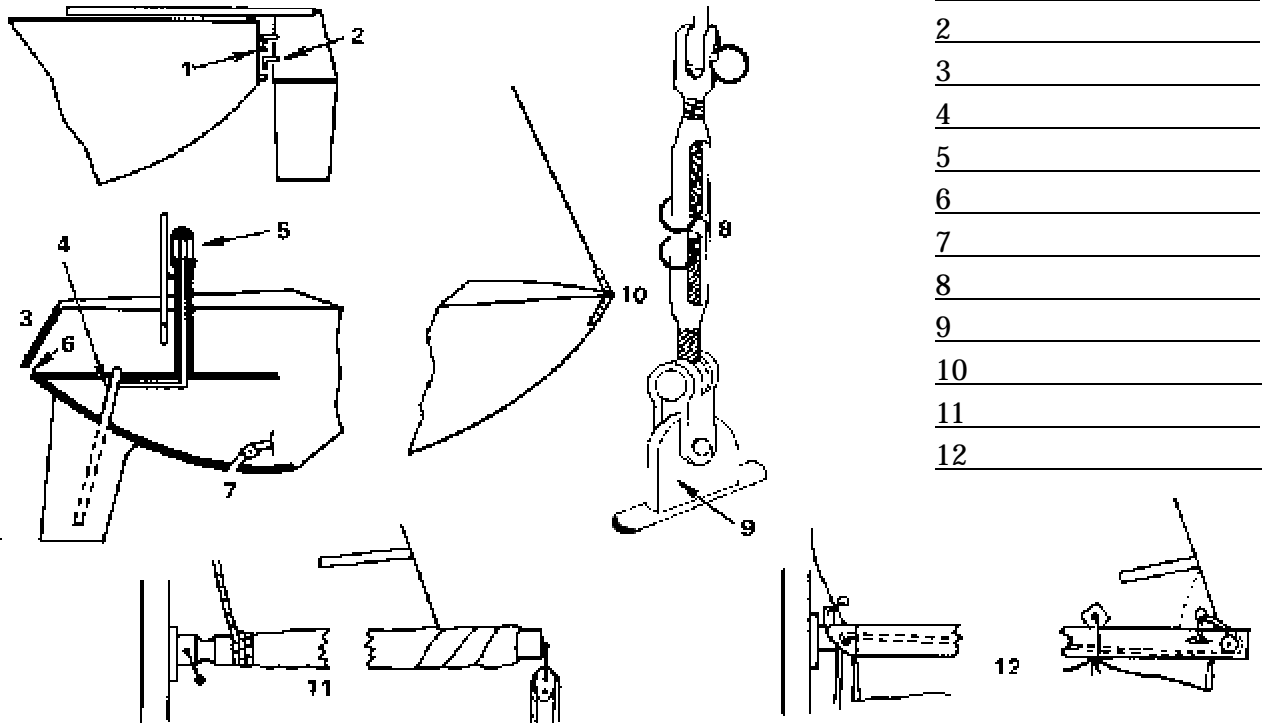
寄港先一覧表

	沖縄校	大阪校	横須賀校	愛知校
集合場所	宜野湾マリーナ	大阪田尻マリーナ	マリーナヴェラシス 1Fロビー	ラグナマリーナ クラブハウス1Fロビー
出港地	宜野湾マリーナ	田尻港	浦賀港	ラグーナ
1日目寄港地	渡嘉敷島	淡路島洲本	三崎港	佐久島
2日目寄港地	阿嘉島	和歌浦港	船形港	神島
帰港地	宜野湾マリーナ	田尻港	浦賀港	ラグーナ

青木ヨットスクールBCCテスト予習用教材

受講時までに仕上げて持参すること。 受講生氏名 _____

問題1 図中の番号に合致する部分または方式の名称を記入せよ



- 1 _____
- 2 _____
- 3 _____
- 4 _____
- 5 _____
- 6 _____
- 7 _____
- 8 _____
- 9 _____
- 10 _____
- 11 _____
- 12 _____

問題2 用具や装備はよく整理し、収納しておかねばならないが、その最も重要な理由は、

問題3 セーフティハーネスはいつどのようなときに使うか。なぜ必要か。

問題4 7mの船外機付きヨットに必要な法定安全備品と、ASAが推奨する安全備品をあげよ。

問題5 ジャックラインについて説明せよ。

問題6 パウ、スターンパルピット、ライフラインはどのような目的で付いているか。

問題7 コンパスのすぐ近くにおくと、正確さに影響を与えるものはなにか。

問題8 設置場所 A から E 航海灯の名称と正しい照射角は。

A: _____ B: _____ C: _____ D: _____ E: _____

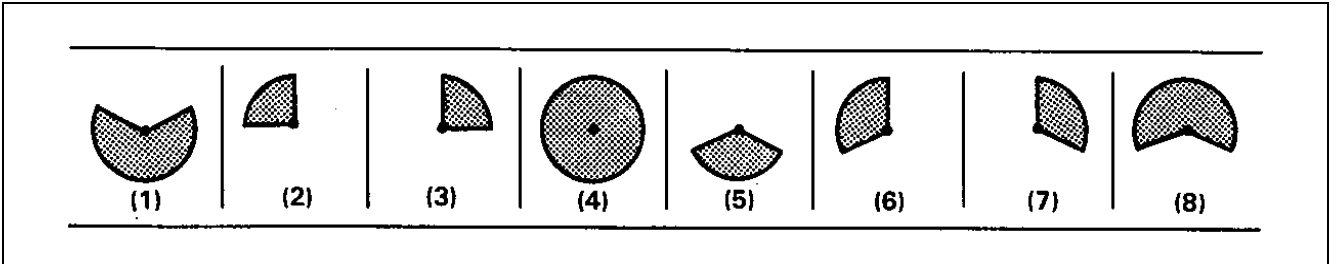
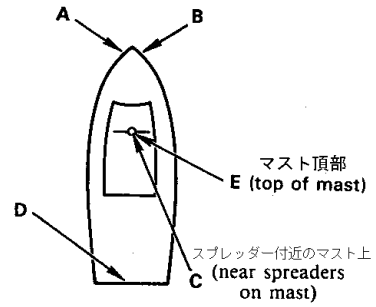
ヨットが日没から日出までの間、次の状態にある時にはどの航海灯が必要になるか。

帆走中… _____

機走中… _____

錨泊中… _____

LOCATION 設置場所



問題9 ヨットマンは体温を喪失し、低体温症に陥った人を助けないといけないときがある。そのとき意識不明者がどの段階の状態かを判断することが重要となる。3種類の段階に適合する身体症状を記入せよ。

(段階)

(症状)

初期の低体温症

中期の低体温症

重度の低体温症

問題10 中期の低体温症に対する治療として、行うべき事、行ってはならないことは。

問題11 ライフジャケットを着け、冷たい水中で救助を待たないといけないとき、どのように行動しなければならないか。

問題12 ライフジャケットを着けた複数人が、冷たい水中で救助を待たないといけないとき、どのように行動しなければならないか。

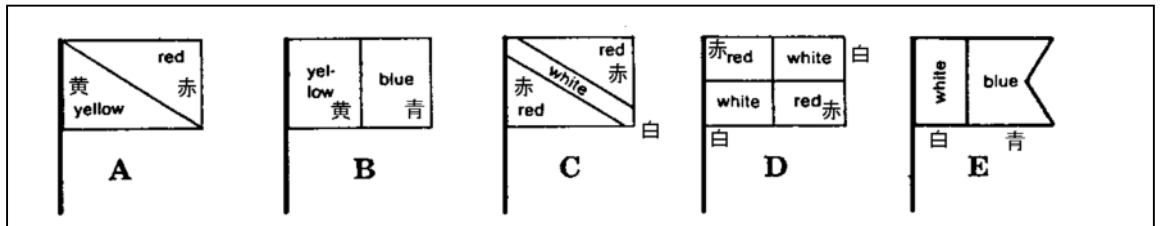
問題13 爆発や火事の原因となる燃料やガスが船上にはある。それぞれの燃料やガスが使用されている、または発生する器具は。

問題14 火災や爆発を予防するための注意点は。

問題15 ヨットに積む消火器は、どのような種類の火災に対し有効なタイプが必要か。

問題16 燃料を給油する際に行うべき事、行ってはならないことをあげよ。

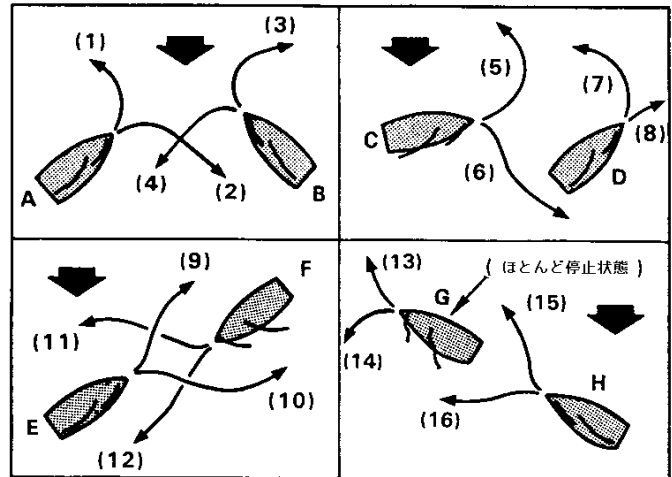
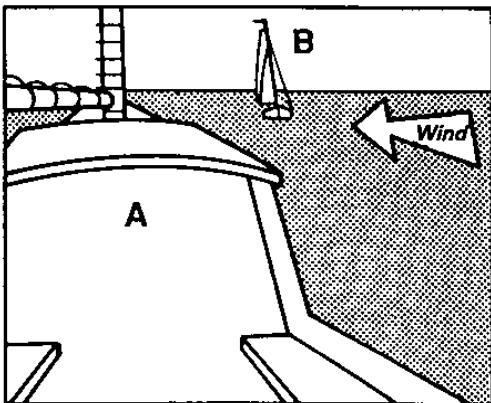
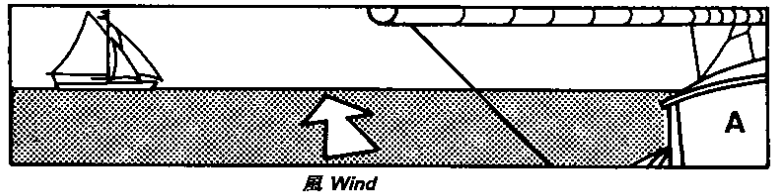
問題17 人がボートの付近で潜水しているときに掲げるはどれか。



問題18 手持ち型の遭難信号炎を使用するときの注意点を述べよ。

問題19 「リーショア」の意味とフネに引き起こす危険性を述べよ。

問題20 それぞれの図における衝突回避の航法は。



問題23 視界が制限されているとき、座礁や他船との衝突の危険を防ぐためとるべき手順は。

問題24 下記の風速に対し、適合するメインとジブセールの組み合わせは。

適合風速(ノット) セールの組み合わせ

10ノットまで

11-16ノット

17-25ノット

26ノット以上

問題25 船上で生じるスキッパーとクルーの受け持つ義務は。

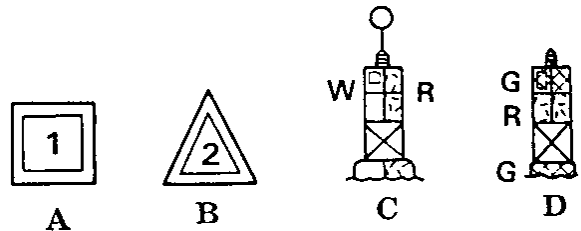
スキッパー

クルー

問題26 海図上で距離を表す単位として海里(マイル)が使われる理由は。

問題27 1海里とは海図上でどの場所を基準に測ればよいか。

問題28 右図の航路標識の意味を記入せよ。



問題29 座礁した艇を離礁させるため方法をのべよ。

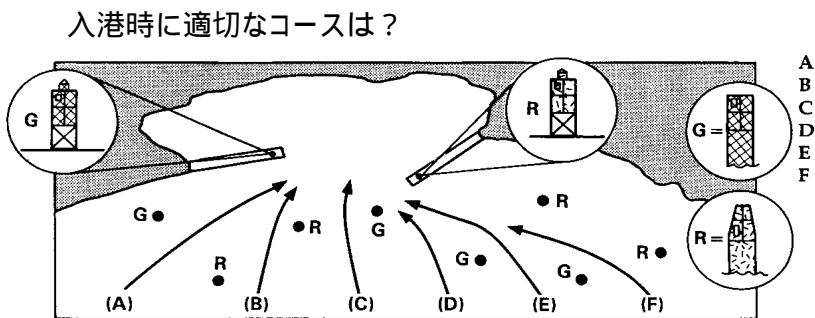
問題30 下記の結びに適合する使用箇所。

- _____ リーフノット
- _____ ボウラインノット
- _____ フィギュアエイトノット
- _____ クラブヒッチ
- _____ シートバンド
- _____ ツーハーフヒッチ

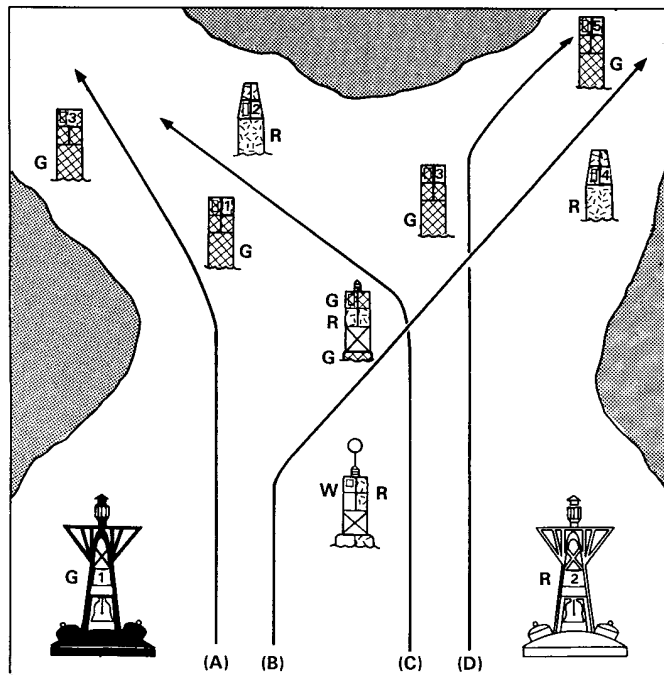
問題31 安全な錨地を選ぶための、最も必要な4つの条件とは。

問題32 アンカーロードに、チェーンが必要な理由を述べよ。

問題33 下図の入港時の進入コースで、適切なコースは。



優先航路に進入する適切なコースは？



問題35 アクシデントに対する最も適切な応急処置をのべよ。

- _____ ビルジが入ってきた
- _____ リギンがとんだ
- _____ 舵が効かなくなった
- _____ アンカーが走錨している
- _____ アンカーを打ったまま座礁した
- _____ アビームで帆走中に激しく座礁した
- _____ プロペラに何か巻きついた
- _____ ハリヤードが切れた

問題36 アンカーがよく効くためには、アンカーの何が大切か。

問題37 満潮時に25フィートの水深がある時、アンカーロードの長さは何だけ必要か。

問題38 ダンフォースタイプとプロータイプのアンカーはどのような底質に適切か。

問題39 下図の海図記号の意味を記入せよ。

A	
⊙ R TR	
QkFI	
⊕	
⊕	
↓ B	
CI	
(2)	
2 kn →	

B	
R..R..	
02	
~~~~~	
⊕	
Rk	
R..	
G C 7''	
⊕ RG N	